

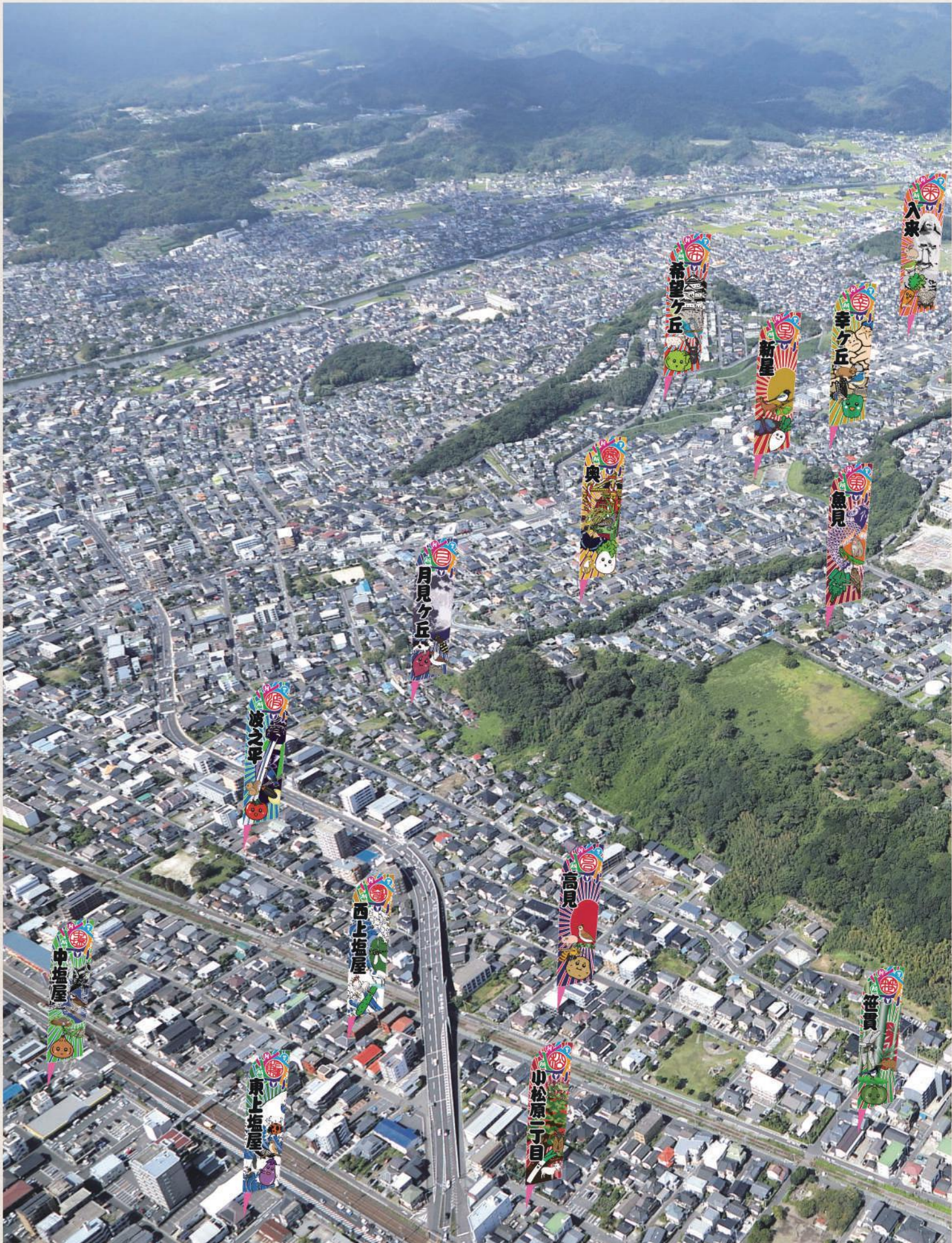


# 東谷山校区コミュニティプラン

Higashitaniyama school district Community conference Master plan



東谷山校区コミュニティ協議会





**1.** はじめに  
(プラン策定の趣旨) **2**

**2.** 東谷山の歴史と史跡等 **3**

**3.** 校区の概要  
(校区の位置・施設等、人口・世帯数) **6**

**4.** 運営方針 **9**

**5.** 東谷山校区を支える組織や団体等 **10**

**6.** 東谷山校区の現状及び課題と資源 **11**

**7.** まちづくりの目標(将来像)及び  
具体的に目指すまちの姿 **12**

**8.** 具体的取り組み  
(第1期事業計画:2022年度~2026年度) **13**

**9.** プラン策定の経過、プラン策定委員名簿 **22**

**10.** おわりに **23**

**11.** 資料  
(住民意識調査の結果「まちづくりアンケート」等) **24**

# 1. はじめに(プラン策定の趣旨)

東谷山校区においては、住民同士のふれあいも盛んで、これまで長い間、町内会や校区公民館運営審議会などの地域コミュニティ組織が取り組む青少年健全育成やふるさとづくり等に住民みんなが協力して参加し、住みよい地域を築いてまいりました。

しかしながら、少子高齢化や核家族化が進行する中で、市民のライフスタイルや価値観も変化し、地域の活動への参加が減るなど、人と人、人と地域との絆が弱まりつつあります。

そこで、鹿児島市においては町内会等が連携し、地域の絆をさらに深め、「共助」の力を発揮できる地域づくりを推進するため、小学校区を単位に地域コミュニティ協議会の設立をすすめてきました。

わが校区においても、高齢化が進み、お互いに支え合う地域の絆をさらに強固なものとするため、地域コミュニティ協議会を設立し、活動していくことが重要であると考え、「東谷山校区コミュニティ協議会」を令和2年4月にスタートさせました。

この間、住民ニーズや校区の現状をより正確に把握するため住民意識調査「まちづくりアンケート」や「まち歩き」等の調査活動をおこなった結果、本校区が抱える諸課題が一層明確になってきました。

その地域諸課題の解決と目指す地域像の達成を目途に、「総合的な東谷山地域の振興計画」の策定に向け、2年間に及ぶ協議を重ねてまいりました。この度ようやく第一期5カ年の「東谷山まちづくりプラン」としてまとめることができました。



## 2. 東谷山の歴史と史跡等

出典:『谷山の歴史と文化財』谷山観光協会刊

### ■ 「谷山」の地名と歴史

- ①「倭名抄」(934年頃)に「谿山」の名称が出ている。
- ②「薩摩国図田帳」(1197年)には「谷山」の名称が出ている。
- ③その後の記録には「郡」を称するときは「谿山」、「村」を称するときは「谷山」という記録がある。
- ④「薩摩地理纂考」によると、明治初年頃は「谿山郡」の名称がある。  
松崎町、上福元村、和田塩屋村、中村、山田村、五ヶ別府村、下福元村、平川村(8町村)
- ⑤明治22年(1889年)町村制の施行により谿山郡の区域が谷山村となる。
- ⑥大正13年(1924年)谷山町となる。
- ⑦昭和32年(1957年)谷山市となる。
- ⑧昭和42年(1967年)鹿児島市と合併する。
- ⑨昭和44年谷山小から分離、「東谷山小学校」が開校
- ⑩昭和59年新設校「清和小」と分離、現在の校区となる

### ■ 笹貫遺跡(通称 湯貫迫)

昭和20年(1945年)3月、海軍燃料貯蓄所が構築された際、通路として3.5mの深さまで掘られたとき、弥生式土器が出土した。

### ■ 薬師堂遺蹟

谷山駅の北側に弥生式土器が出土している。

### ■ 煙硝倉跡(えんしょうくらあと) 小松原2丁目38 永田川沿い

薩摩藩の火薬製造所の跡 安政5年(1858年)島津斉彬が谷山中塩屋に硝石場を建設した。〔薩摩海軍史〕

西南戦争のときに官軍によって焼かれてなくなった。



### ■ 玉里別邸跡 小松原2丁目26 小松原公園

玉里別邸は島津久光が二男忠済（ただなり）の病氣療養のために小松原に建てた。忠済とその夫人が住み、一般に久光の住んでいた玉里邸（現鹿児島女子高）に対して、ここは玉里別邸と呼ばれていた。

民間人に譲られていたが、昭和50年ごろ区画整理で建物はなくなった。

### ■ 射場山跡（いばんやまあと） 小松原1丁目68 射場山公園（ラサール学園北側）

射場山は大砲の射場として人工的に造られた山で、洋式砲術の演習が行われた場所である。

### ■ 島津忠義公御仁慈の碑（しまづただよしこうごじんじのひ） 東谷山5丁目17-16（安庭徹氏宅地）

石碑の内容

「疱瘡（天然痘）が流行し、死者も多く出た。藩主島津忠義公が谷山郷を見回ったときである。鶴の膏（あぶら）が疱瘡に効き目があると聞いた忠義公は御場で飼育している鶴から膏を取り、疱瘡の病人を救えと命じられた。早速その通りに治療したら、大いに効き目があり、藩主忠義公の御仁慈は深い。」

### ■ 塩釜神社 小松原2丁目2

塩が専売制度になる明治38年まで谷山郷の上塩屋・中塩屋・東塩屋・西塩屋の集落では、毎年7月から十五夜にかけて夜通し海水を煮詰めて塩を作った。塩づくりが人々の生活を支えていたので、各塩屋は塩土老翁神（しおつちおじのかみ）を祭神とする塩釜神社を建てた。中塩屋の塩釜神社を本社とし他の神社は分社とした。

### ■ 奥龍蔵権現（おくりゅうそうごんげん） 東谷山4丁目2

南北朝時代、谷山郡司であった谷山隆信の曾孫忠重が、この奥の地の150町歩を領地とし、奥氏を名乗ったとある。奥忠重が谷山総鎮守の神、伊佐智佐権現の分霊を勧請し氏神とした。以降、奥龍蔵権現と呼ぶようになった。薩摩新刀の名工；奥三兄弟（元平、元武、元安）の鍛冶場のあった所といわれる。



## ■ 魚見ヶ原遺跡

鹿児島湾を見下ろせる標高約60mのシラス台地に位置している、縄文時代・弥生時代・古墳時代の複合遺跡である。

## ■ 波ノ平城跡 希望ヶ丘町希望丘団地一帯

団地ができる前の希望ヶ丘は「城ヶ原（じょうがはら）」と呼ばれた。城ヶ原の北方は道路を通したため切断され、北側の低地は城跡公園（自由ヶ丘1丁目9）となっている。「城」の文字が示すように、南北朝・戦国時代（1336年～1573年）の希望ヶ丘は波ノ平城という山城であった。

## ■ 波之平刀匠之遺蹟 東谷山4丁目

薩摩の名刀といわれる波之平の初代刀工行安は橋口正国とって、大和（奈良）の国から薩摩に入り、永延（987～988）年頃この地に住んだ。

波之平地区は近くに谷山海岸の豊かな砂鉄、背後の山に木炭、そして焼刃渡しの水もあり、刀剣づくりに適していた。行安は一条天皇の御剣を作ったことから、波之平は全国に名を知られるようになり、明治初期まで64代900年も続いた。

現在、焼刃渡しの水として利用したという井戸が、波之平と笹貫に残っている。また、数点の刀が市の文化財に5件が指定されている。

## ■ 田の神「(通称) ガッタニ たのかんトリオ」



奥の田の神さあ  
東谷山4丁目20（奥公園）



入来の田の神さあ  
東谷山7丁目15



波之平の田の神さあ  
東谷山2丁目2（桜川公園）

### 3. 校区の概要(校区の位置・施設等、世帯・人口数)

私たちの東谷山校区は、校区のシンボルである小中学校から東に雄大な桜島、南に錦江湾が続き、大隅半島が遠望できる素晴らしい景観が広がっています。小学校を中心に約4キロメートルの範囲に15の町内会があり、総世帯数7,800戸、人口17,000人を超える市内でも規模の大きい校区です。

#### ■ 文教施設

- 1 東谷山小学校
- 2 東谷山中学校
- 3 ラ・サール中学校・高等学校
- 4 学校法人原田学園 鹿児島医療技術専門学校
- 5 こまつばら幼稚園
- 6 しらゆきこども園
- 7 おひさまこども園
- 8 クラリス保育園
- 9 東谷山保育園

#### ■ 公共施設

- 1 鹿児島南警察署
- 2 鹿児島市中央卸売市場
- 3 鹿児島市東開庭球場
- 4 小松原市民館

#### ■ 郵便局

- 1 鹿児島清見郵便局
- 2 鹿児島笹貴郵便局
- 3 鹿児島東開郵便局

#### ■ 電停

- 1 谷山電停
- 2 上塩屋電停
- 3 笹貴電停

#### ■ 神社

- 1 塩釜神社

#### ■ 史跡

- 1 波之平刀匠之遺蹟
- 2 奥龍蔵権現

#### ■ 商業施設

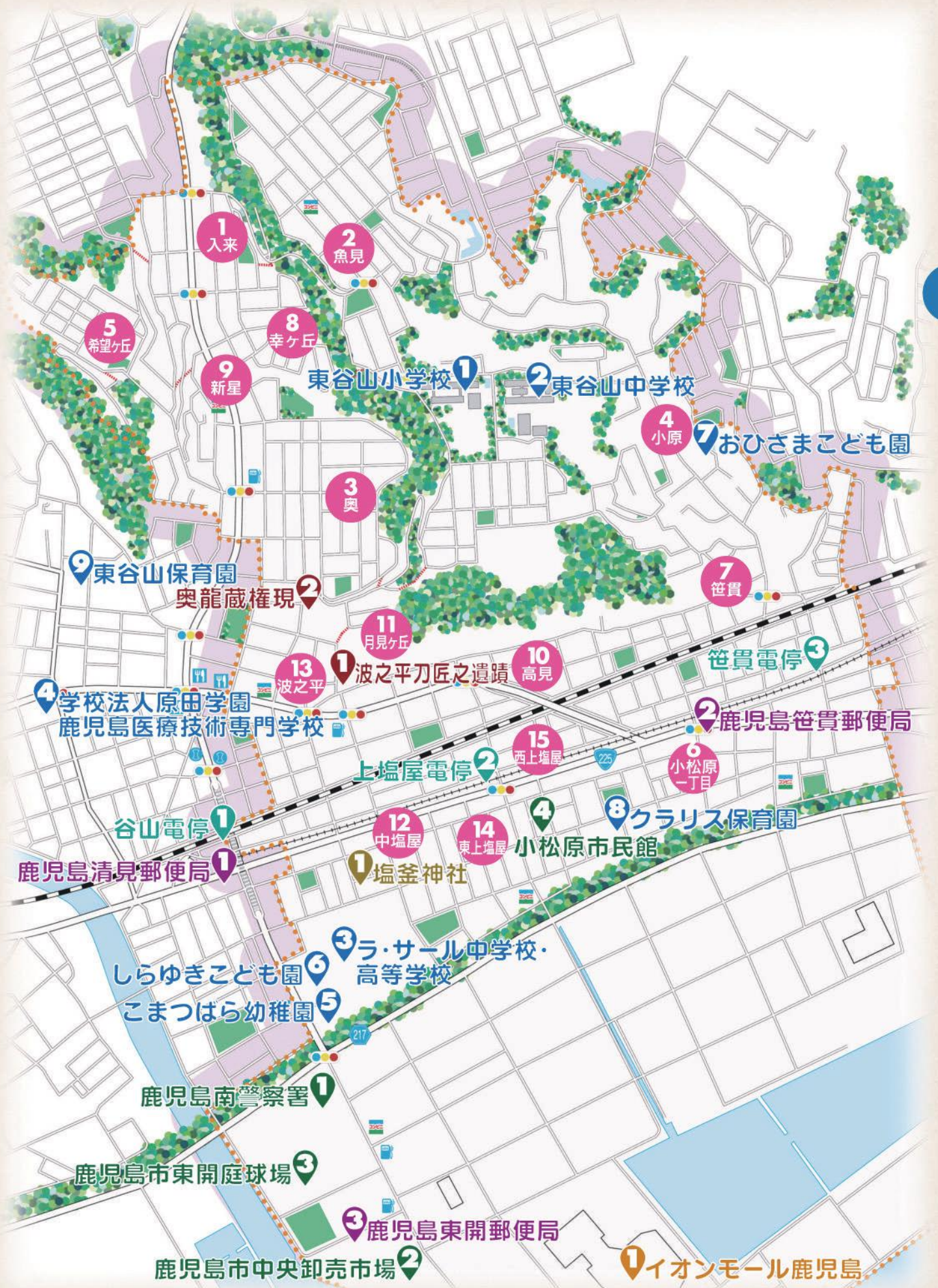
- 1 イオンモール鹿児島

#### ■ 町内会(15町内会)

- 1 入来町内会
- 2 魚見町町内会
- 3 奥町内会
- 4 小原町内会
- 5 希望ヶ丘町内会
- 6 小松原一丁目町内会
- 7 笹貴町内会
- 8 幸ヶ丘町内会
- 9 新星町内会
- 10 月見ヶ丘町内会
- 11 高見町内会
- 12 中塩屋町内会
- 13 波之平町内会
- 14 東上塩屋町内会
- 15 西上塩屋町内会







■ 統計で見る東谷山の姿

東谷山校区 町丁目毎世帯数

町丁目	世帯数
小原町	895
魚見町	994
東谷山一丁目	1,867
東谷山二丁目	1,202
東谷山四丁目	551
東谷山六丁目	724
東谷山七丁目	349
小松原一丁目	1,918
小松原二丁目	1,578
希望ヶ丘町	267
住所地内世帯数	10,345
東谷山小校区	7,814

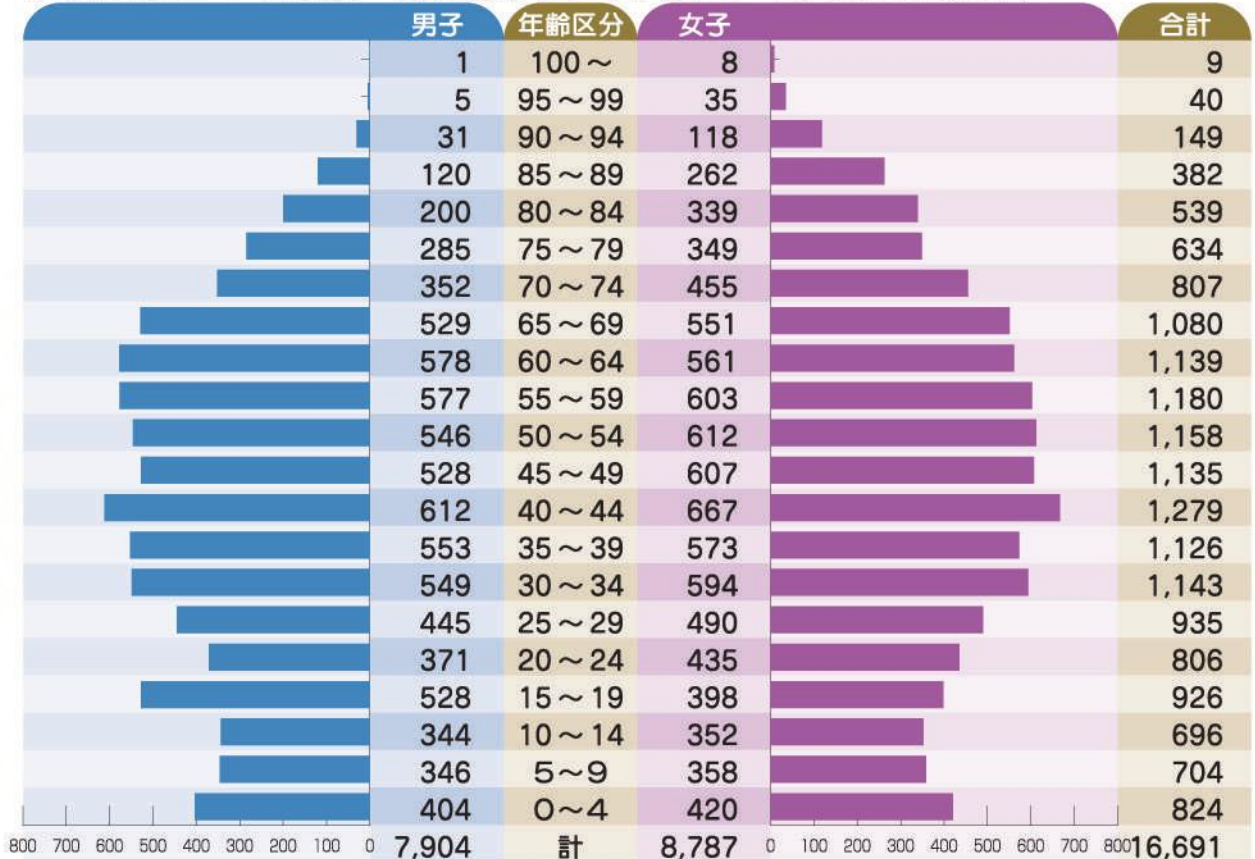
東谷山校区 年齢別高齢者人口

年齢別	世帯数
65歳～69歳	1,080
70歳～74歳	807
75歳～79歳	634
80歳～84歳	539
85歳～89歳	382
90歳～94歳	149
95歳～99歳	40
100歳以上	9
高齢化率 21.06%	3,640

※平成27年国勢調査によるデータ

※平成27年国勢調査によるデータでは、東谷山2丁目、4丁目と小松原2丁目には清和校区が混在しているため数値が正確ではありません。参考の世帯数として掲載しています。

東谷山校区の年齢別・男女別人口（平成27年国勢調査結果）



（令和2年度の国勢調査は統計の集計が間に合いませんでした。）



## 4. 運営方針

- 1. 校区住民が親和と共同の連帯意識をもって、校区の発展と生活環境の整備を図り、校区住民が主体となった、潤いと活力ある住みよいまちづくりを推進する。
- 2. 子供たちをはじめ、校区住民みんなが夢や希望をもち、共に助け合いながら、楽しく生活し続けることができるこころ豊かな校区づくりを推進する。
- 3. みんなで創る地域づくりを基本に、役割分担し、各部会の主体的・積極的活動の充実に努める。
- 4. 各種構成団体との連携を図り、効率的な事業推進に努める。
- 5. 校区の課題や校区づくりに住民の声を大切にして策定したコミュニティプラン（地域振興計画）をもとに、自助・共助による計画の実現をめざすとともに、関係行政機関との連携による活動（公助）の充実に努める。



## 5. 東谷山校区を支える組織や団体等



## 6. 東谷山校区の現状及び課題と資源

まちづくり 部 会	現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 少子・高齢世帯の増加</li> <li>■ 町内会加入率低下</li> <li>■ 急傾斜地が多い地区での土砂災害の発生や、低地での津波が予想され、防災意識の向上と緊急避難先の確保</li> <li>■ 朝夕の交通量増加に伴う交通渋滞や生活道路への通り抜け</li> <li>■ 住民同士の交流が希薄化、地域行事等への参加者減少</li> <li>■ ゴミ出しマナーの低下</li> <li>■ バスの減便による不便さ</li> </ul>
	資源等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高台からの眺望(桜島、錦江湾、大隅半島)</li> <li>■ 複数のコンビニ、スーパー、医療機関、金融機関</li> <li>■ 交通インフラの整備(JR・市電はじめ国・県・市道の整備)</li> <li>■ ロードミラーがどの校区より多く比較的安全性が高い</li> <li>■ 多くの企業・団体が存在している</li> </ul>
福祉・安全 部 会	現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 世代間の交流活動の場や機会が不足</li> <li>■ 生活弱者(独居高齢者等)の孤立化</li> <li>■ 高齢者が身近に集える(サロン)が不足</li> <li>■ 交通弱者(高齢者、子供等)への配慮不足～踏切等の改善</li> </ul>
	資源等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢者クラブ、お達者クラブの活動</li> <li>■ 校区社協、民児協の活動</li> <li>■ 青パト隊や地域安全パトロールが常時活動している</li> <li>■ 東谷山福祉館や小松原市民館の活動</li> </ul>
社会体育 部 会	現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ だれでも気軽に楽しめるスポーツ施設がない</li> <li>■ 健康づくりや体力づくりの機会や場が少ない</li> <li>■ 各種スポーツ同好会が少ない</li> </ul>
	資源等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スポーツ少年団の活動が活発</li> <li>■ 学校校庭や体育館の開放事業</li> <li>■ スポーツ推進委員や競技指導者がいる</li> <li>■ 「南部保健センター」と連携した「健康づくり活動」を展開</li> </ul>
社会教育 部 会	現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生涯学習の場や機会が少ない</li> <li>■ 文化施設(身近に使える図書館等)が少ない</li> <li>■ 文化財・史跡等の管理や広報が不十分</li> <li>■ 文化的催し物の機会や場が乏しい</li> </ul>
	資源等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 社会学級の活動が充実している</li> <li>■ 町内会で趣味等を生かした文化力がみられる</li> <li>■ 史跡や石碑、縄文・弥生の埋蔵土器等が存在</li> <li>■ 十五夜行事や六月灯など伝統文化が継承されている</li> </ul>
青少年育成 部 会	現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 街灯が少なく夜間とくに暗い箇所がある</li> <li>■ 不審者やバイク等の暴走行為が散見される</li> <li>■ 家庭教育、子育ての悩み相談等の場や機会が不足</li> </ul>
	資源等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 活発な小中学校PTA活動</li> <li>■ あいご会や少年団の活動が活発</li> <li>■ 児童クラブや放課後子供教室が充実している</li> <li>■ 充実した教育環境がある</li> </ul>



## 7. まちづくりの目標（将来像）及び具体的に目指すまちの姿

東谷山校区の現状及び課題と資源

東谷山校区のこれまでの取り組み

目標

子供に夢を、若者にロマンを、高齢者に愛を、  
みんなで支え合う 安心安全の東谷山

具体的に目指す  
東谷山の姿

### 福祉・安全

人にやさしく住みよいまち

校区住民のつながりと支えあう意識の醸成に取り組み、誰もが安心して暮らせる福祉活動をすすめます。自主防犯・防災体制を充実させ防犯・防災意識の浸透を図ります。

### 青少年育成

子供たちが夢や希望も持てるまち

子供に笑顔があふれ、元気なあいさつが飛び交う地域づくりをすすめ、青少年の健全育成活動の充実を図ります。

### まちづくり

地域の資源(人)や自然を生かした活力あるまち

明るく活力あるまちづくりをすすめます。町内会の活性化とみんなで支え合う互助の気風を高め、地域活動への参加促進を図ります。

### 社会教育

楽しく学びあい文化を創造するまち

生きがいをもち、学ぶ喜びを実感できる地域づくりのため、歴史文化の継承や生涯学習の推進に努めていきます。

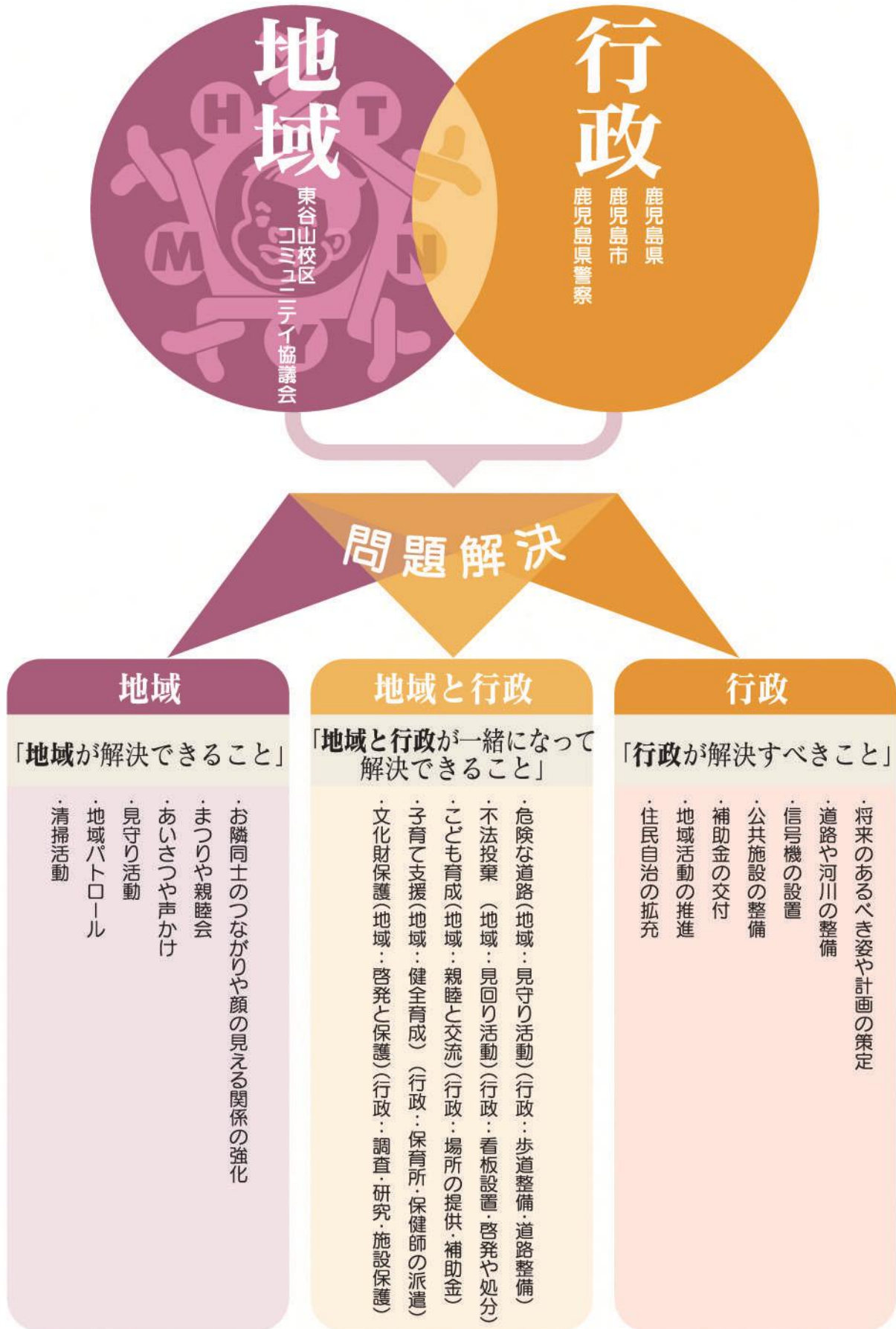
### 社会体育

「東谷山スポーツ王校区」を目指すまち

校区民の親睦と健康の保持・増進を目的に、体育・保健行事の推進を図るとともに、生涯スポーツの支援・推進を図ります。



## 8. 具体的取り組み(第1期事業計画:2022年度~2026年度)



## まちづくり部会

事業名	事業内容	事業のねらい	事業主体	目標		
				短期	中期	長期
1 広報紙の発行	広報紙「ひがし谷山」の年2回発行	校区住民への情報提供による相互理解を深める。	広報紙編集委員会	継		
2 定期的環境点検と改善活動	テーマをもった「まち歩き」	まち歩きをしながら危険箇所を把握するとともに、改善策を検討するのに役立てる。	まちづくり部会	●		
3 史跡・文化財の啓発と保護活動	史跡見学会と講演会	ふるさとへの愛着心を醸成する。	まちづくり部会 社会教育部会 青少年育成部会	●		
4 災害に強いまちづくり	危険箇所の把握と避難訓練	地域の危険箇所を知るとともに、災害発生時の避難場所確保と早期避難に役立てる。	各町内会		●	
5 校区クリーン作戦 まち美化活動	クリーンシティかごしまへの参加 不法投棄ごみ調査	町内会ごとにクリーンシティかごしまに参加し公園や道路の美化活動を行う。 地域の不法投棄の状況を把握し、防止に努める。	各町内会 まち美化指導員 企業・団体		●	
6 町内会役員等研修会	役員研修会 他地区研修	役員研修や先進地視察等を行うことで町内会活動の活性化と人材育成に努める。	まちづくり部会 各町内会			●
7 初日を拜む会	初日を拜む会	校区民参加の初日の出を拜む会を通して、健康や安全を祈願したりお互いに挨拶を交わしたりして交流を深める。	まちづくり部会	継		
8 ホームページの管理	活動紹介	広報紙とともにホームページでも協議会の活動状況を広報し、校区住民の協議会への参加意欲を高める。	まちづくり部会	継		





# 福祉・安全部会

事業名	事業内容	事業のねらい	事業主体	目標		
				短期	中期	長期
1 ■ 高齢者の見守り活動、サポーターの育成	定期的な高齢者訪問 高齢者相談の仕組み作り シニアサポーター講座	高齢者の孤立化防止のために安心して困りごと相談ができる環境づくりを進める。 シニアサポーターを育成して見守り活動を進める。	福祉・安全部会 地区民児協 南部保健センター 健康づくり推進員協議会	●	●	
2 ■ 転倒予防や介護の講習会	生活上の転倒シミュレーションとその予防講習会 介護の実践講習会	転倒予防法を体験しながら学ぶ。 認知症周辺行動について理解し、適切な対処の方法を学ぶ。	校区社協 南部保健センター 健康づくり推進員協議会 高齢者クラブ お達者クラブ	●		
3 ■ 東谷山子育てひろば	子育てひろば「亀さんクラブ」	月1回の子育て広場を開催することにより、新しい知識と技法による楽しい子育ての実現を支援する。	校区社協 地区民児協	継		
4 ■ (校区)防災訓練	各町内会ごとに防災訓練開催 町内会単位の防災土育成	町内会ごとの安全避難場所の確保と避難方法の確認を行う。また、防災士の育成にも努める。	福祉・安全部会 町内会自主防災会 東谷山消防分団	●		●
5 ■ 青パト隊防犯パトロール	青パト隊及び町内会独自の地域安全パトロールによる地区割パトロールの実施	下校時の子どもへの注意喚起を行うとともに、不審者からの被害防止や高齢者等の安全確保に努める。	校区青パト隊 交通安全協会東谷山支部 地域安全モニター	継		
6 ■ 校区独自防災ハザードマップ策定	公的マップをもとに各町内会単位でハザードマップ策定	地域の実態に即した避難経路等を確認するとともに、避難行動要支援者等も考慮した、校区独自の防災ハザードマップを策定する。	福祉・安全部会 町内会自主防災会 東谷山消防分団	●		
7 ■ 安心安全ネットワーク会議	高齢者向けの参加体験型の交通安全教室 通学路点検調査 夜間照明状況確認 不審者出没調査と対策	交通弱者へ配慮した対策や夜間照明の改善に努める。 不審者情報を把握して安全な環境づくりを進める。	福祉・安全部会	継		
8 ■ SDGsをみんなのものに	SDGs小冊子の配付 廃材でSDGsバッチ作成 風呂敷活用プロジェクト	SDGsについて理解を深めるとともに、個人で身近にできる持続可能な社会作りへの参加を促す。	福祉・安全部会 校区社協	●		●



## 社会体育部会

事業名	事業内容	事業のねらい	事業主体	目標		
				短期	中期	長期
1 ■ 校区大運動会	校区民総参加のスポーツ大会	校区民の親睦と健康の保持・社会体育部増進を図る。	社会体育部	●		
■ 「スポーツ王校区」大運動会	・種目の刷新・転倒防止実技指導 ・校区キャラクター登場、町内会のぼり、校区旗作製 ・チラシによる事前広報	楽しくスポーツにふれあえる大会運営と健康情報の提供、大会参加者増を図る。 スポーツを通じて校区民が楽しく親睦を深め、大会参加者増を図る。 大会参加者増を図る。	社会体育部	●	●	●
2 ■ 校区球技大会	スポーツ交流大会	校区民の親睦と健康の保持、社会体育部大会運営の充実と参加者の健康の保持・増進を図る。	社会体育部	●		
■ ソフトバレーボール・ソフトボール大会「スポーツ王校区」各種目別地域スポーツ大会開催	・夏場の開催を避ける、開催時期の検討 ・種目別スポーツ大会の検討	大会運営の充実と参加者の健康の保持・増進・生涯スポーツ推進に役立てる。	社会体育部	●		●
3 ■ シニアグラウンドゴルフ大会	・シニアグラウンドゴルフ大会 ・転倒防止実技指導	校区民の親睦と健康の保持・増進を目的、競技発表の場提供と生涯スポーツ推進に役立てる。 健康情報を提供する。	社会体育部	●		
4 ■ ふれあいグラウンドゴルフ大会	・校区スポーツ交流大会 ・転倒防止実技指導	校区民の親睦と健康の保持・増進、世代間交流の場を提供、生涯スポーツ推進を図る。 健康情報を提供する。	社会体育部	●		
5 ■ ふれあいゴルフ大会	愛好者によるスポーツ交流大会の支援	生涯スポーツ推進を図る。	社会体育部 ゴルフ同好会	●		
6 ■ スポーツ少年団への支援	「スポーツ王校区」大運動会での紹介	子供たちの健全育成支援と地域スポーツの活性化を図る。	社会体育部 スポーツ少年団	●		
7 ■ 健康づくり講座の開催	校区の各イベントにて転倒防止実技指導	校区民が集まる機会に健康情報を提供する。	社会体育部	●		
8 ■ スポーツ愛好クラブ設立支援	・スポーツクラブ設立補助、運営支援、大会補助 ・地域スポーツクラブ規程の策定	健康の保持・増進を目的、生涯スポーツ推進を図る。 生涯スポーツ推進の目的に合致している地域スポーツクラブを支援する。	社会体育部		●	●



## 社会教育部会

事業名	事業内容	事業のねらい	事業主体	目標		
				短期	中期	長期
1 社会学級講座の開催	講話、実技、実習等	生涯学習活動を推進し、ともに集い学んでいく楽しさを味わう。	成人学級 女性学級 家庭教育学級	●	●	●
2 校区文化祭の開催	舞台発表 展示発表 講話・講演	青少年健全育成大会と同時に開催し、日頃の学習成果の発表の機会とするとともに、地域住民のふれあい交流を図る。	社会教育部会 町内会 成人学級 女性学級 小中学校	●	●	●
3 歴史探訪のまち歩き	地域文化財の保存・伝承	地域の文化財や史跡を見直し、郷土に誇りをもつ。また、伝統文化の掘り起こしを行い、継承していくことで地域住民のふれあい・交流を図る。	社会教育部会 町内会 小中学校 小中学校PTA	●	●	●
4 学校支援ボランティア登録者の拡充	学校支援	地域の先生の掘り起こしを進め、地域の教育力の向上を図る。	学校支援ボランティアコーディネーター 町内会 小中学校	●	●	●
5 生涯学習サークル活動の支援	自主学習サークルの発掘と支援	生涯学習の支援を行い、地域住民のふれあい・交流を図る。	社会教育部会 町内会	●	●	●



## 青少年育成部会

事業名	事業内容	事業のねらい	事業主体	目標		
				短期	中期	長期
1 ■ 登下校あいさつ運動	あいさつ活動と見守り	登下校時のあいさつ活動を通じて、通学路の危険箇所点検や不審者対策を行う。	小中学校PTA スクールゾーン委員会	継		
2 ■ あいご会活動支援	たこあげ大会やドッジボール大会の支援	イベントを行うことで、子供たちの健全育成や学び・遊びの場を提供する。	あいご会 小中学校PTA	継		
3 ■ 青少年健全育成大会	青少年健全育成大会の企画・運営	青少年の健全育成についての学びと発表の場を提供する。	青少年育成部会	継		
4 ■ パトラン活動	パトロールランニング	校区内をランニングしながら、青少年の健全育成を見守る。	青少年育成部会	●		
5 ■ 校区もちつき大会	もちつき大会	もちつき大会を開催し、地域文化を継承するとともに、遊びの場を提供する。	青少年育成部会 小中学校PTA あいご会	●		
6 ■ スクールゾーン委員会の支援	スクールゾーン委員会との連携	活動を通じて発見した危険箇所についての情報を提供し、住民の安全な生活に役立てる。	青少年育成部会 小中学校PTA	●		
7 ■ 家庭教育についてWEB講座	家庭教育についての講座の提供	家庭教育についての悩みの情報共有の場を提供する。	青少年育成部会 小中学校PTA	●		
8 ■ プログラミングフェスタの開催	プログラミング体験	講義ではなく、プログラミングにより物の動きをコントロールできる様を見せることで面白さを感じてもらう。	青少年育成部会	●		



■ **これまでの具体的取り組みの様子**(東谷山校区公民館運営審議会時代の活動の様子も含む)

■ **初日を拝む会**



■ **あいご会ドッチボール大会**



■ **シニアグラウンドゴルフ大会**



■ **ふれあいグラウンドゴルフ大会**

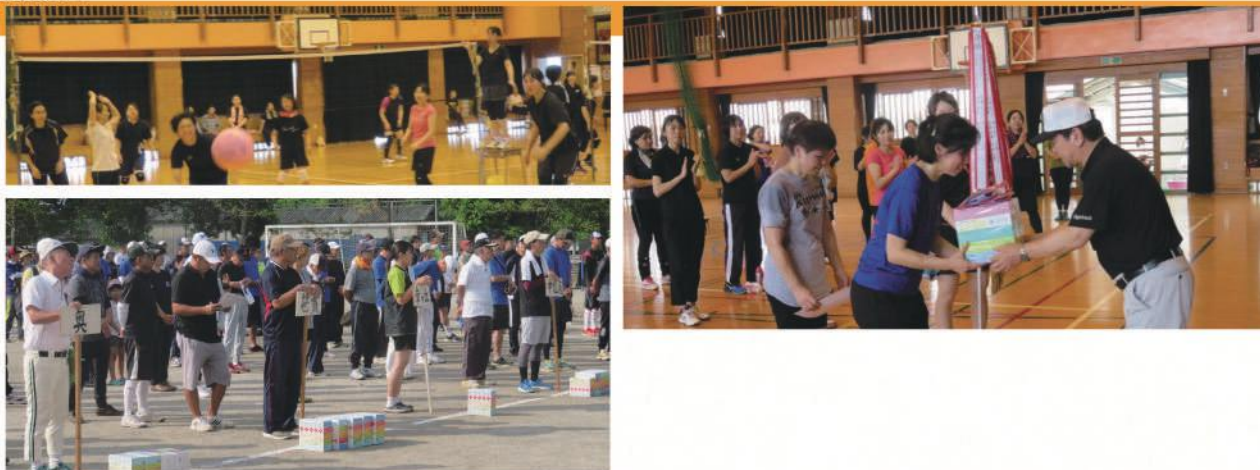


■ これまでの具体的取り組みの様子(東谷山校区公民館運営審議会時代の活動の様子も含む)

■ 校区運動会



■ 球技大会



■青少年健全育成大会



■もちつき大会



■協議会看板設置



■交通安全教室



## 9. プラン策定の経過、プラン策定委員名簿

### ■ プラン策定委員会等の内容

年月日	プラン策定委員会等	内容
令和2年8月17日	第1回プラン策定委員会	まちづくりアンケートの内容検討
令和2年9月11日	第2回プラン策定委員会	まちづくりアンケート実施
令和2年11月12日	第3回プラン策定委員会	まちづくりアンケート経過報告
令和2年12月17日	第4回プラン策定委員会	まちづくりアンケート中間結果
令和3年3月4日	第5回プラン策定委員会	まちづくりアンケート結果報告
令和3年5月14日	第6回プラン策定委員会	「まち歩き」日程場所確認
令和3年5月 17日～21日	校区内を5ブロックに分け「まち歩き」	防災点検、通学路危険箇所点検、史跡や福祉施設などの見学
令和3年5月30日	「まち歩き」のまとめ	「まち歩き」の概要を広報紙に載せる内容検討
令和3年6月25日	第7回プラン策定委員会	コミュニティプラン案検討
令和3年7月8日	第8回プラン策定委員会	コミュニティプラン案検討
令和3年9月10日	第3回校区コミュニティ協議会役員会	書面評決にてコミュニティプラン案を全会一致で議決

### ■ プラン策定委員会委員

氏名	プラン策定委員会等	所属等
槐 島 奉 文	校区コミュニティ協議会会長	幸ヶ丘町内会会長
田 中 建 男	同 事務局長	魚見町町内会会長
福 田 栄 一	同 まちづくり部会長	小松原一丁目町内会長
新 村 昭 秀	同 福祉・安全部長	地区民児協会会長
檜 木 みゆき	同 社会教育部長	校区女性学級長
大 木 健 太 郎	同 青少年育成部長	校区あいご会監事
中 脇 公 英	同 社会体育部長	スポーツ推進委員
松 本 俊 雄	同 まちづくり部副部長	笹貫町内会会長
鬼 塚 カズエ	同 まちづくり部副部長	小原町内会会長
吉 満 昭 代	同 社会教育部副部長	東谷山小学校教頭





## 10.おわりに

東谷山校区コミュニティ協議会の設立目的は、「東谷山小学校区における身近な課題の解決や、地域資源を生かした活動など、地域主体のまちづくりに取り組み、連帯感と活力に満ちあふれ、みんなが主役になるまち」を将来像に見据え活動をスタートさせています。

最近の少子・高齢化の波や地球規模の気候変動や感染症は顕著で、地域社会には喫緊の対応が求められており、「安心・安全な地域社会」に向けて地域が一体となって取り組まなければならない課題が山積しています。

今回策定した「第一期 東谷山まちづくりプラン」は、校区の諸課題や活用資源を明確にし、めざす「東谷山の将来像」の達成に向けて5年間を展望した事業計画(地域振興計画)としています。

「第一期 東谷山まちづくりプラン」が実効性のあるものとなりますよう、校区の皆様方一人一人が主体的にかかわっていただきますよう、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、アンケート等にご協力をいただいた皆様方やプラン策定のとりまとめにご尽力をいただいた皆様に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

令和4年3月吉日

東谷山校区コミュニティ協議会  
会長 槐島 奉文

東谷山校区コミュニティ協議会

〒891-0112 鹿児島市魚見町124-1(東谷山小学校内)

東谷山校区公民館

TEL・FAX 099-298-5983

E-mail/ [higatani53@po5.synapse.ne.jp](mailto:higatani53@po5.synapse.ne.jp)

ホームページアドレス <https://higatani53.com/>

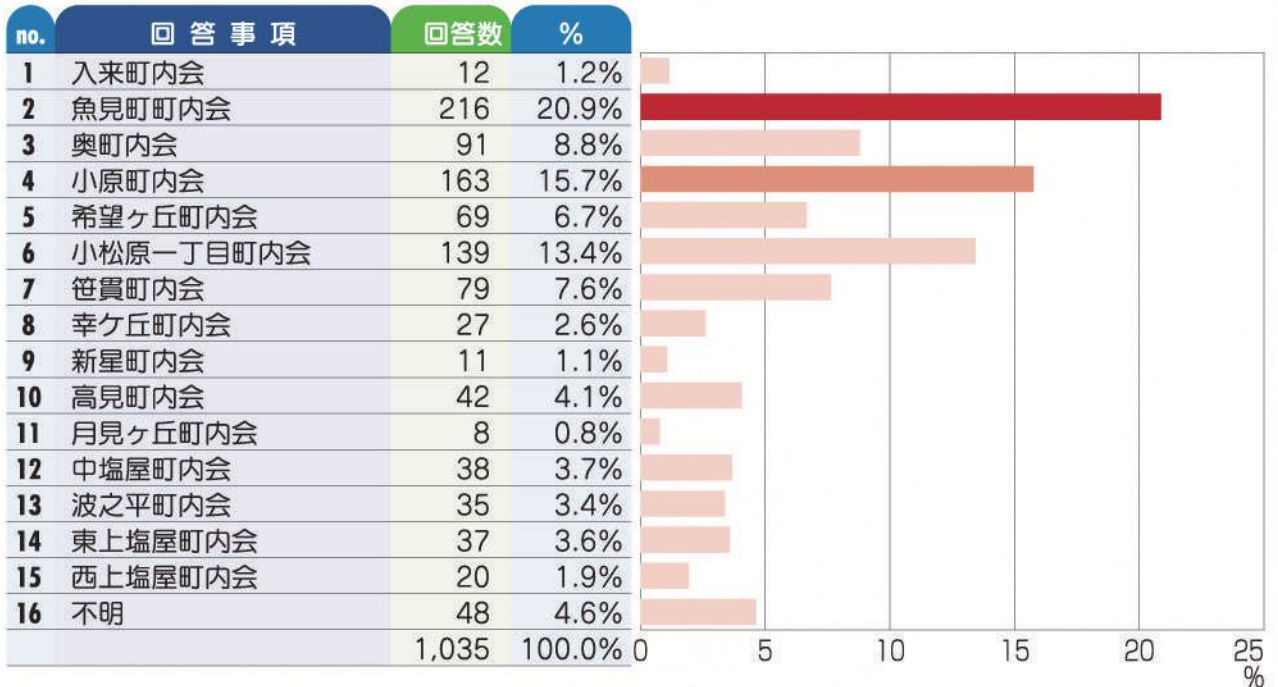


# 11.資料(住民意識調査の結果「まちづくりアンケート」等)

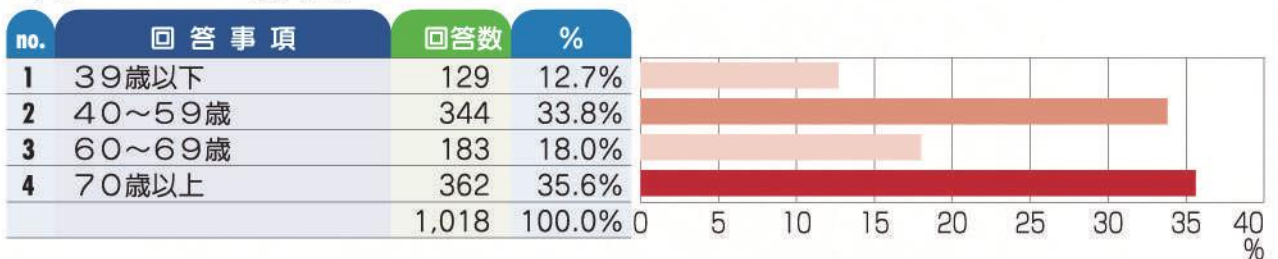
## 東谷山校区アンケート結果

### 1.あなた自身のことについて

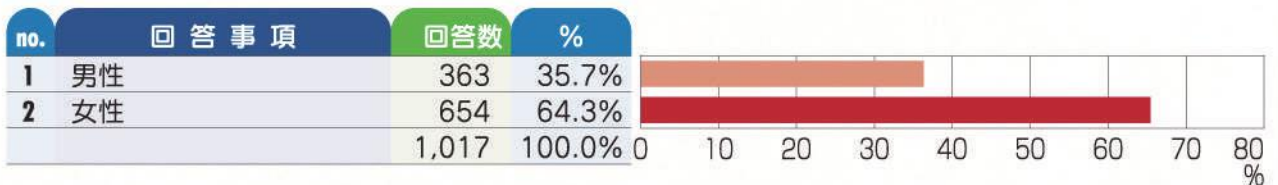
問1 現在お住まいの地区はどこですか。



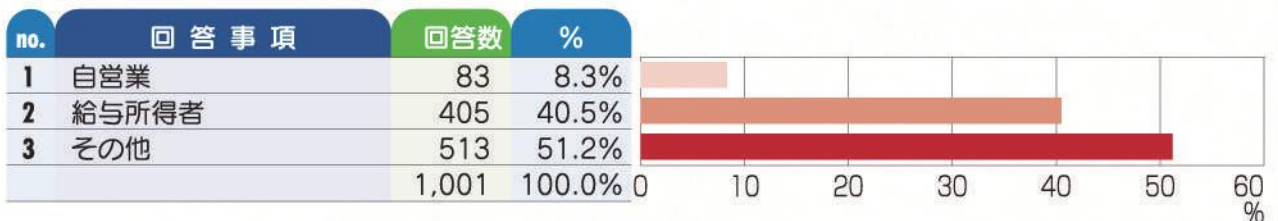
問2 あなたは満何歳ですか。



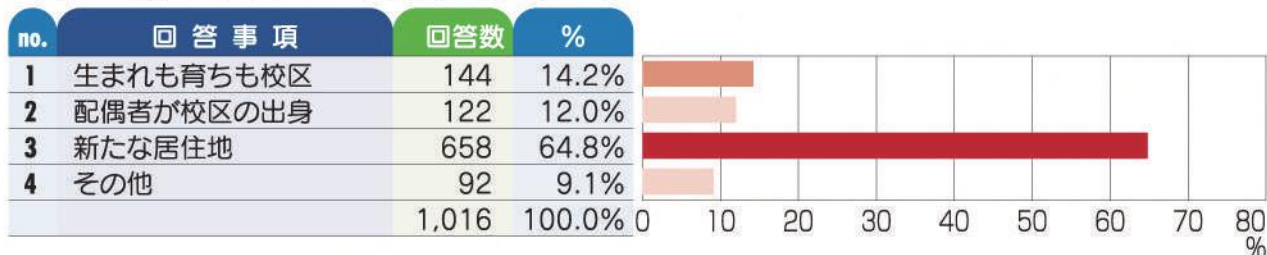
問3 あなたの性別はどちらですか。



問4 職業はどちらですか。

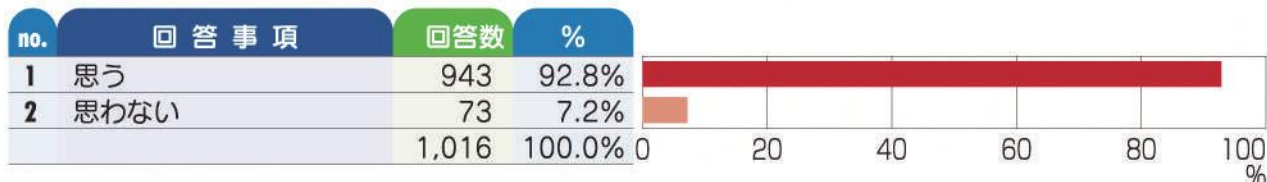


### 問5 校区に住んでいる理由は何ですか。

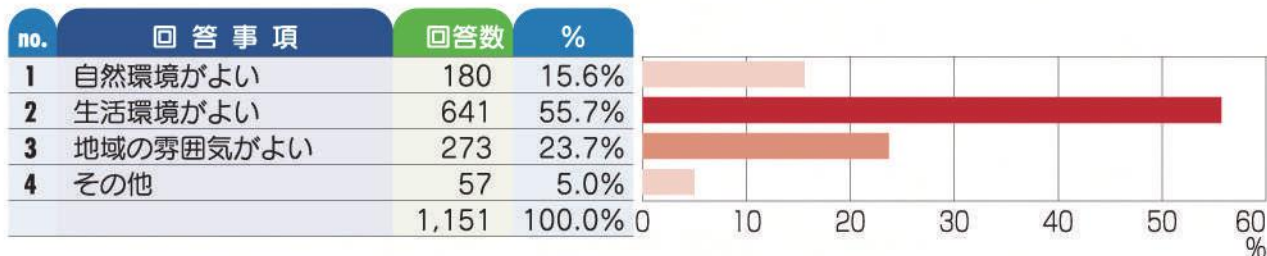


## 2.地域の生活環境やまちづくりについて

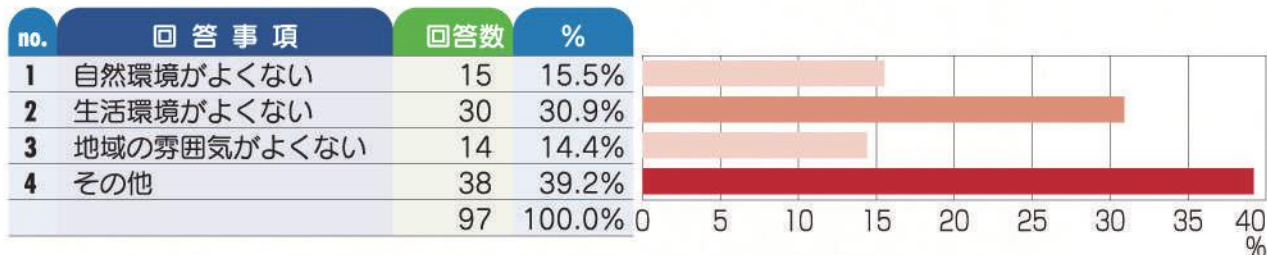
### 問1 地域は住みやすいと思いますか。



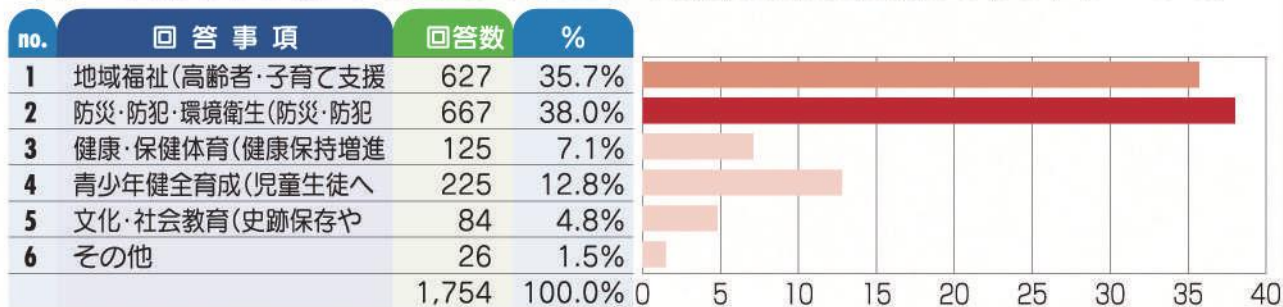
### 問2 住みやすいと思う理由は何ですか。



### 問3 住みやすいと思わない理由は何ですか。

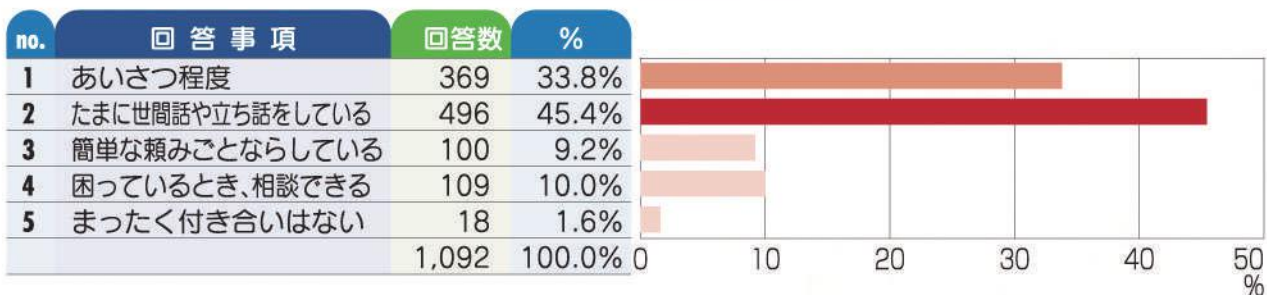


### 問4 魅力ある地域にするために、どのような活動の充実を期待しますか。(2つまで)

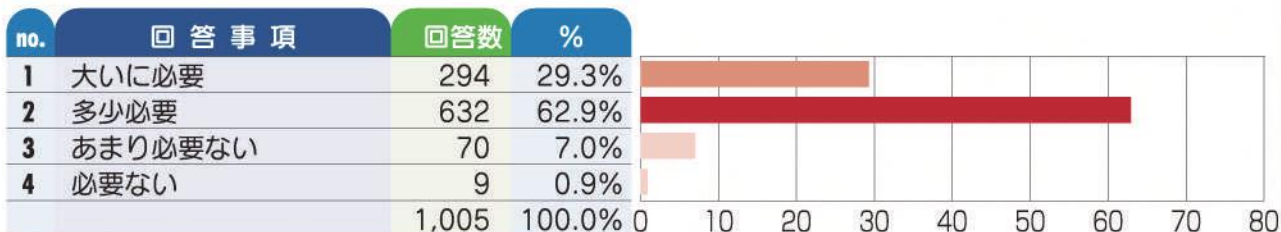


### 3.地域福祉について

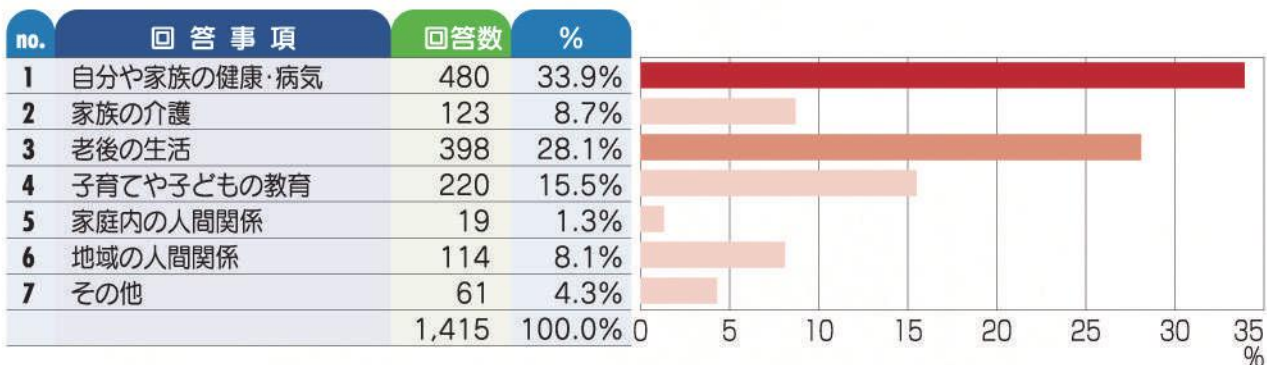
問1 近所の方との程度お付き合いをしていますか。



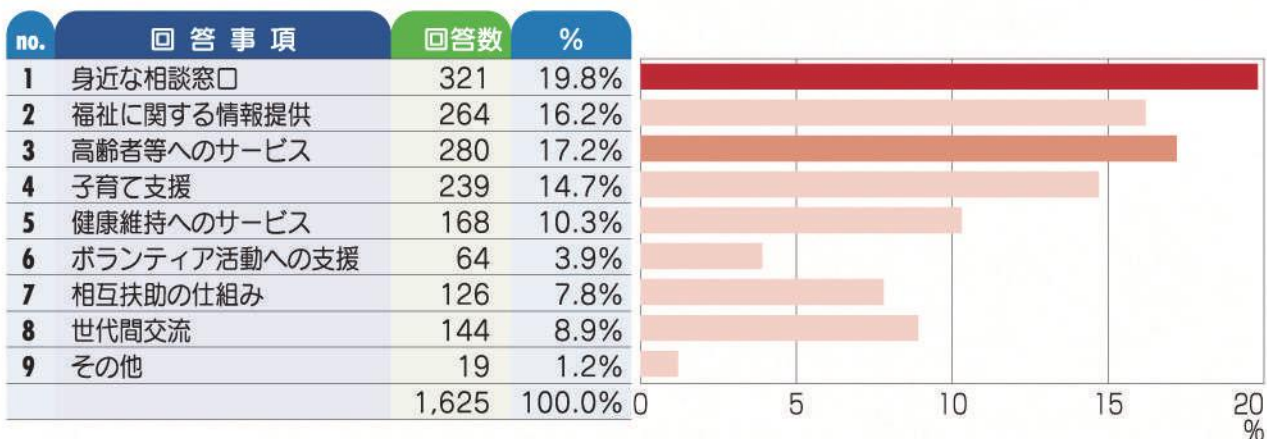
問2 あなたはご近所による助け合いは必要だと思いますか。



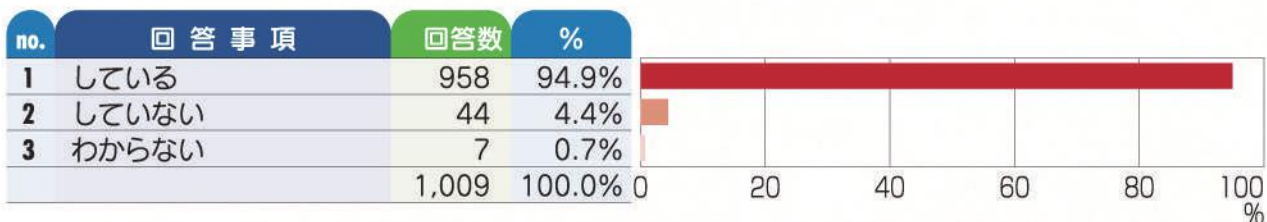
問3 日頃どのような悩みや不安を感じていますか。(2つまで)



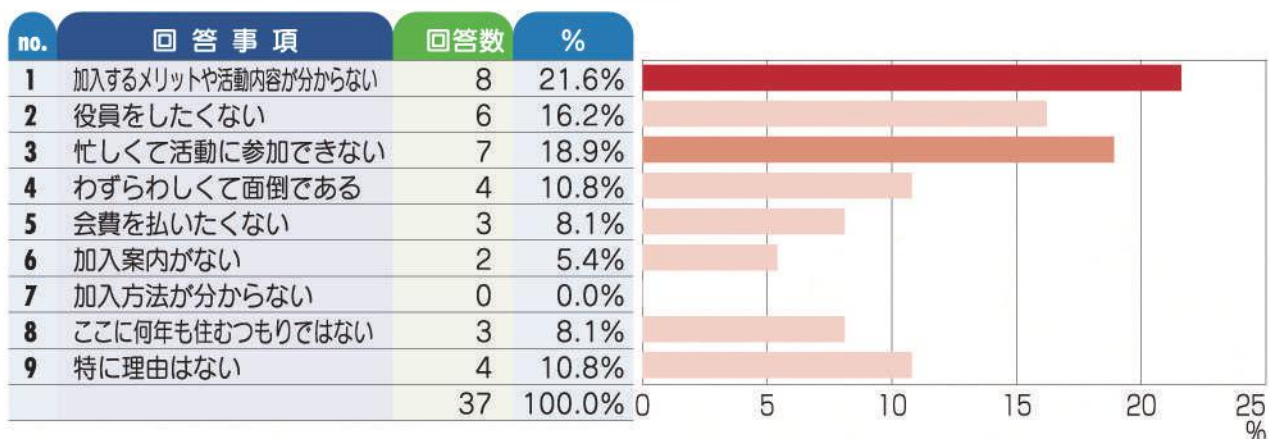
問4 地域の福祉をさらによくするために、今後どのような取組みが必要だと思いますか。(2つまで)



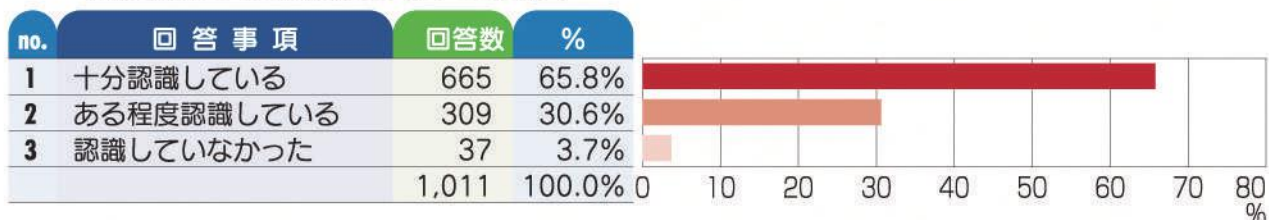
問5 あなたの世帯は町内会に加入していますか。



問6 「加入していない」と回答された方にお伺いします。  
加入していない理由をお聞かせください。

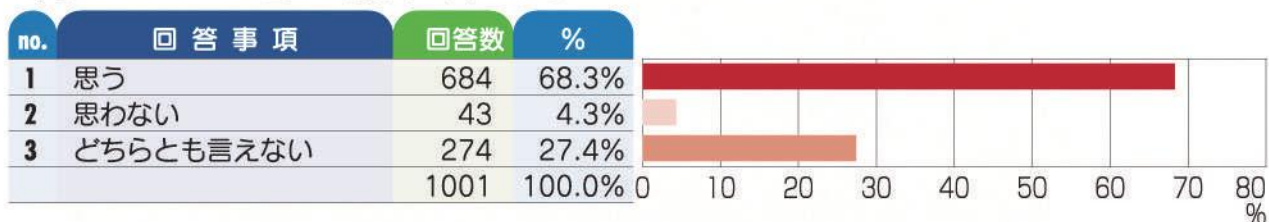


問7 町内会がごみステーションや防犯灯の設置・管理など担う相互扶助の住民自治組織であることを認識していますか。

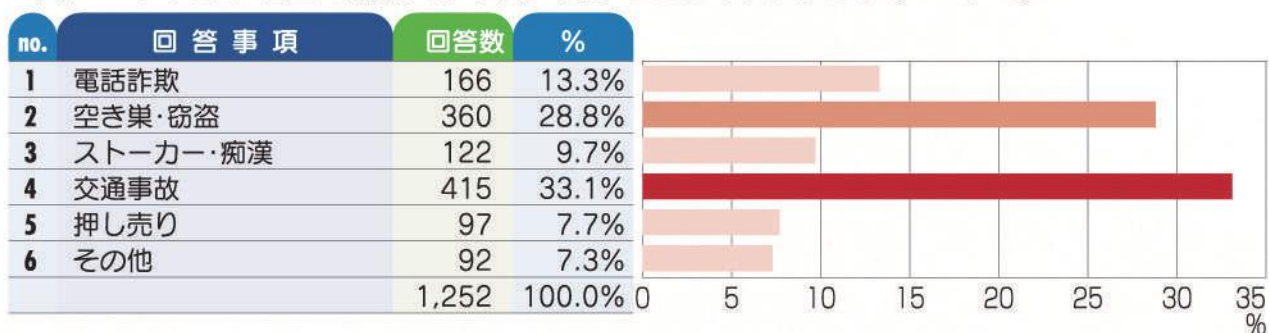


#### 4 地域の治安、防災について

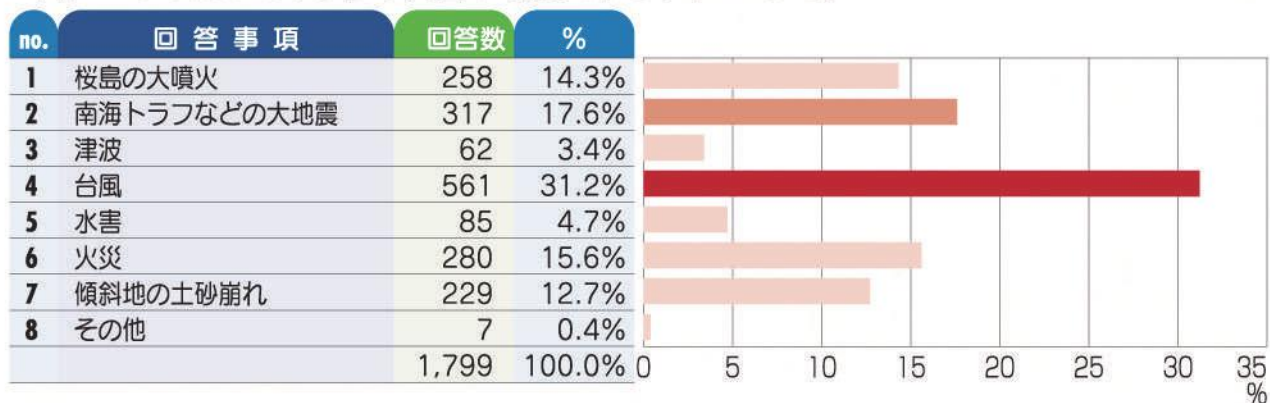
問1 あなたの地区の治安は良いと思いますか。



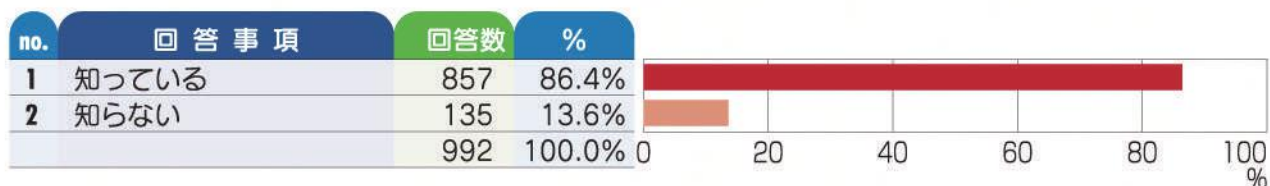
問2 あなたの地区の防犯で、不安に思うことがありますか。(2つまで)



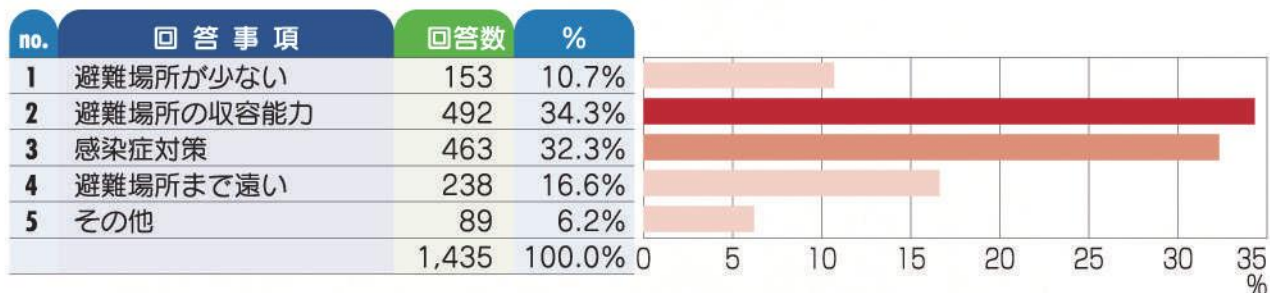
### 問3 あなたはどのような災害が心配ですか。(2つまで)



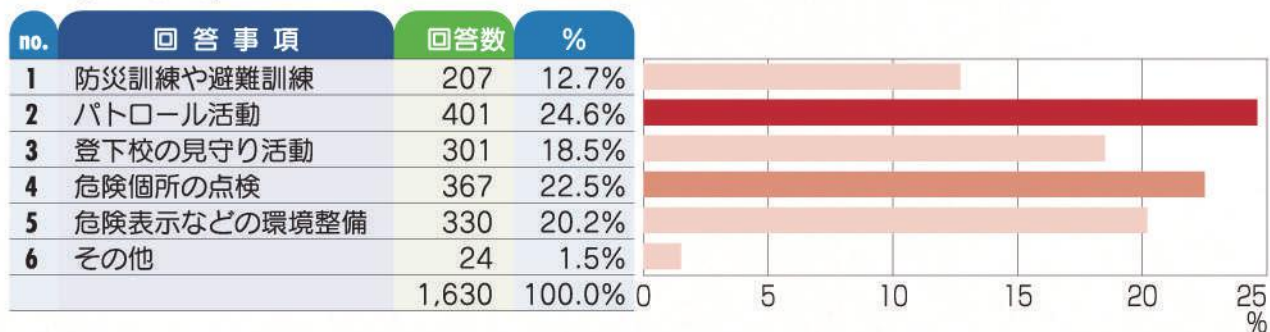
### 問4 あなたは、災害発生時の避難先を知っていますか。



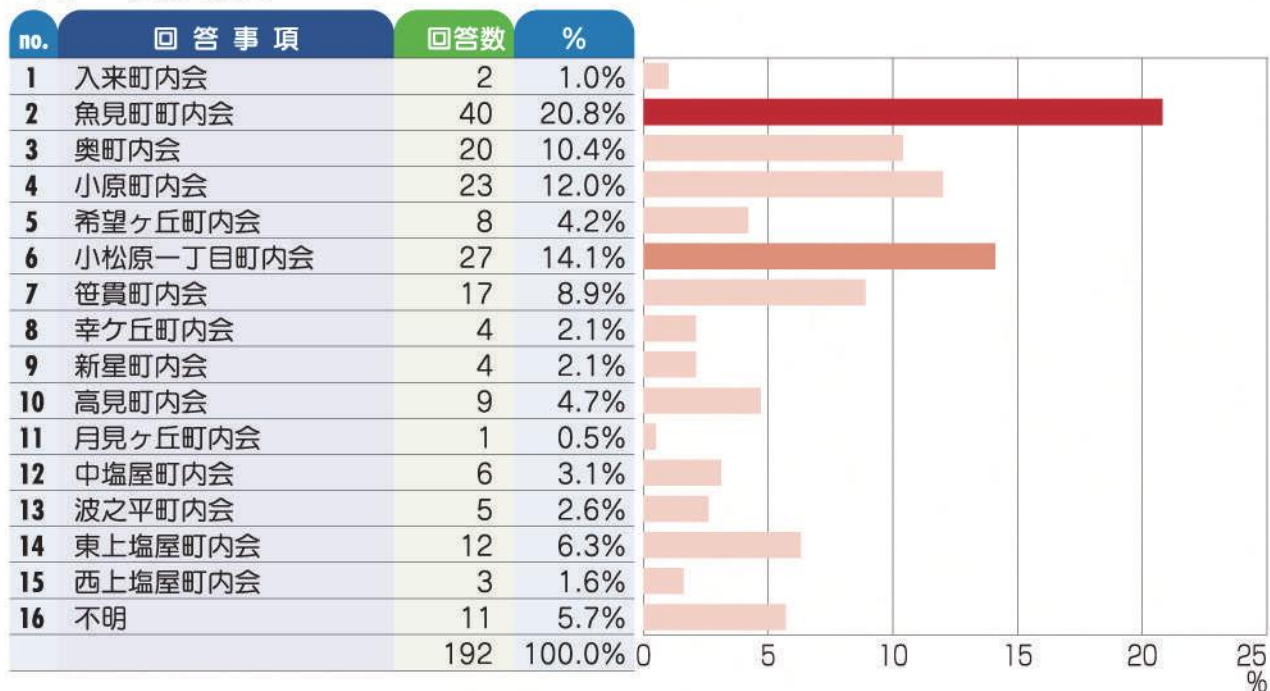
### 問5 避難場所について不安に思っていることは何ですか。(5つまで)



### 問6 安心安全なまちづくりのために、どのような活動を実施したらよいと思いますか。(2つまで)

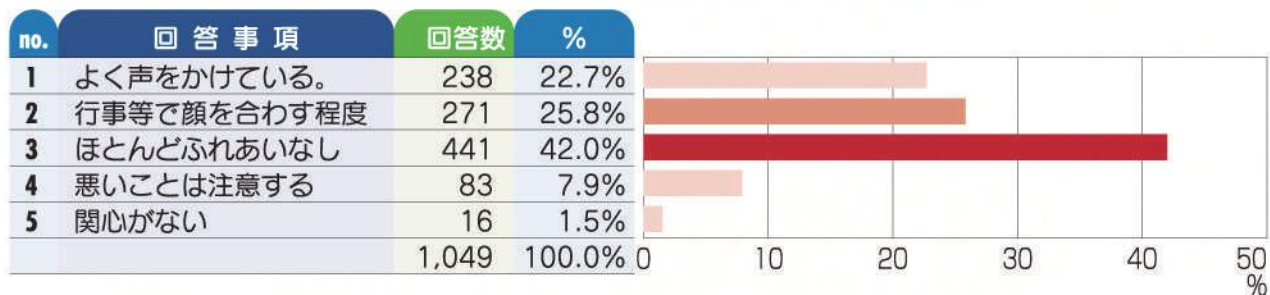


## 問7 危険場所。

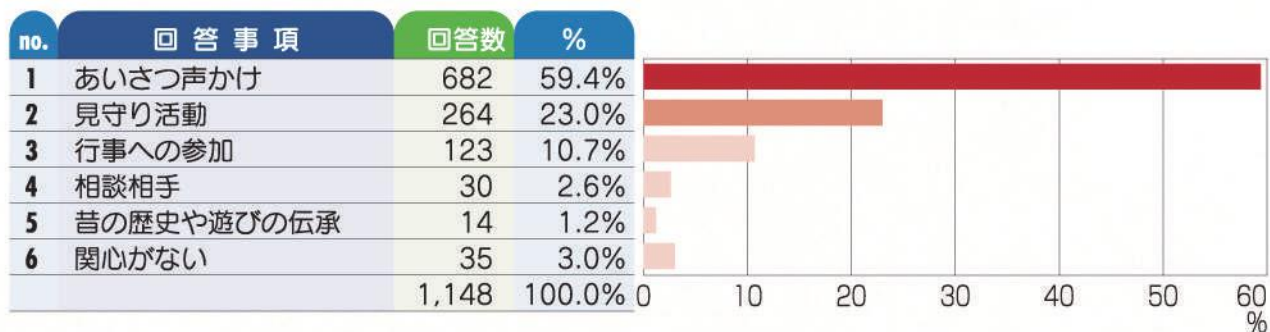


## 5 青少年育成について

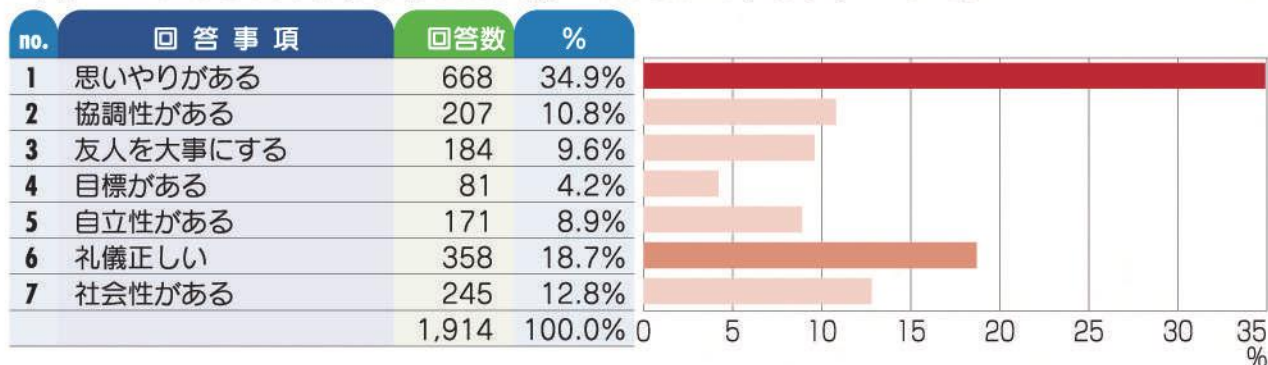
問1 日頃、校区の子どもたちと、どの程度関わりを持っていますか。



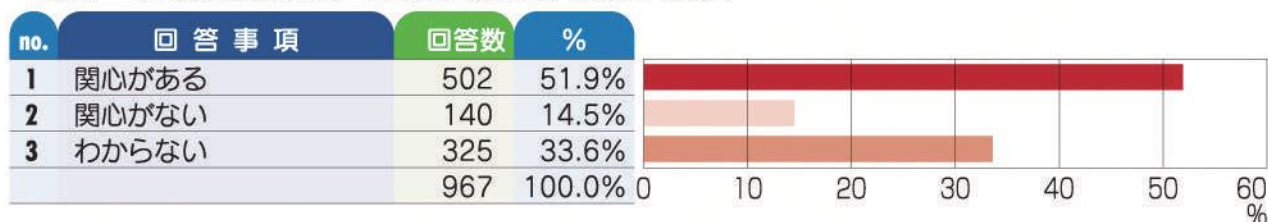
問2 青少年育成のため、協力したいと思うことは何ですか。



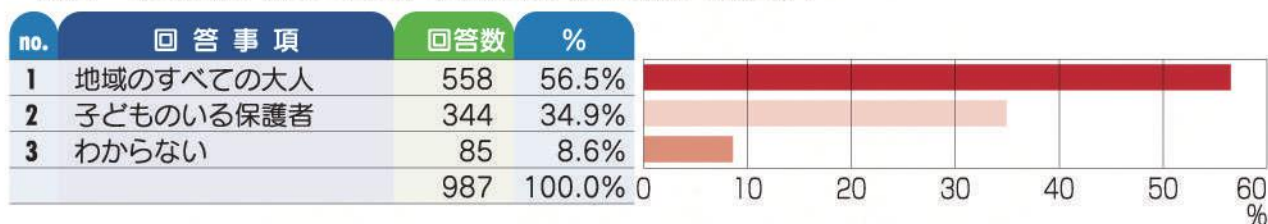
問3 これからのどのような子どもに育ててほしいですか。(2つまで)



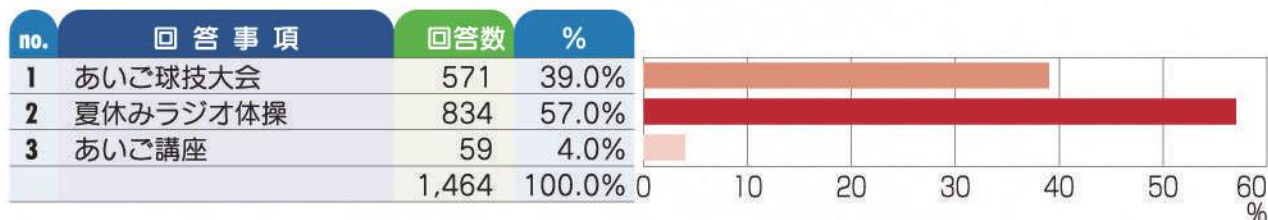
問4 あなたは、「あいご会」に関心がありますか。



問5 あなたは「あいご会」の母体は何だと思えますか。

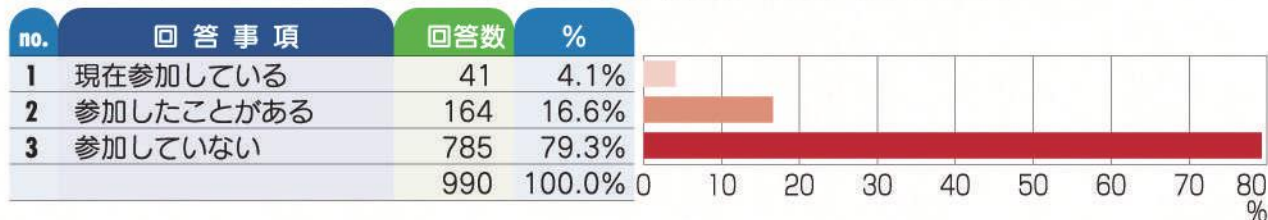


問6 校区「あいご会」が実施している活動を知っていますか。(複数回答可)

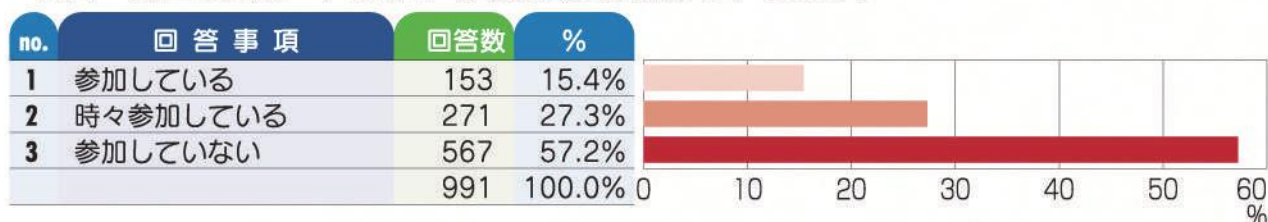


6 社会教育・社会体育について

問1 校区の社会学級(成人・女性)などに参加したことがありますか。



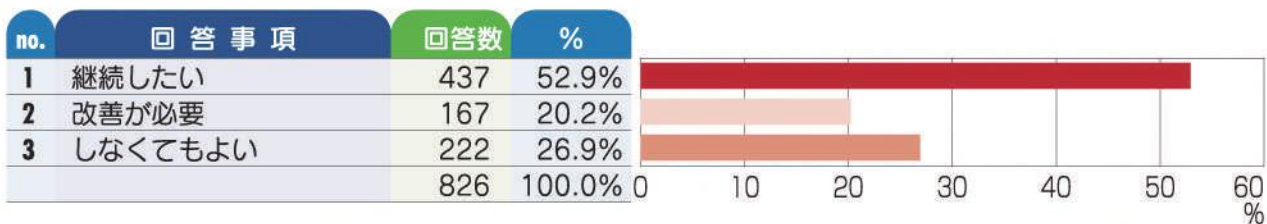
問2 校区のスポーツ行事や地域活動に参加していますか。



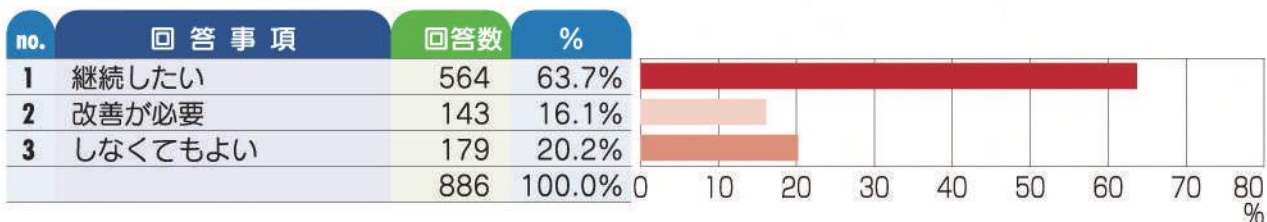


## 7 町内会や校区等がこれまで実施してきた行事について

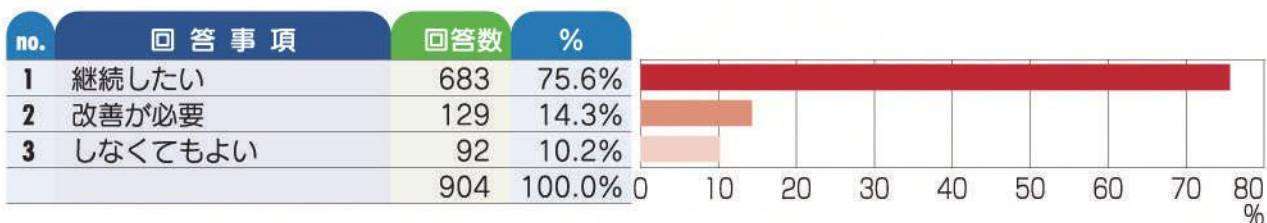
### ア 球技大会



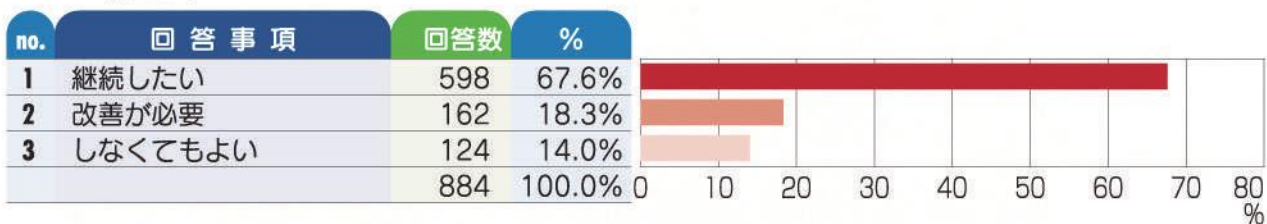
### イ 運動会



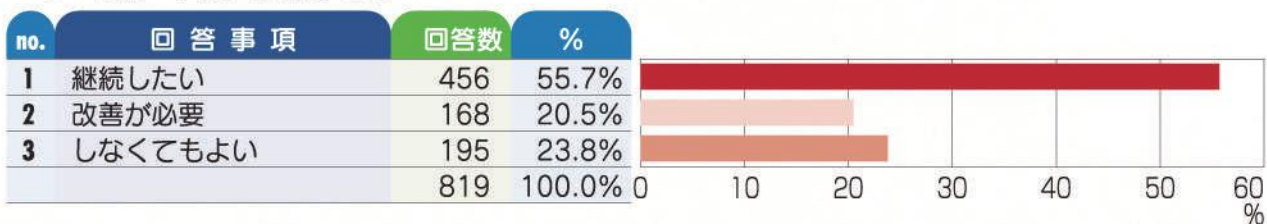
### ウ 夏祭り・十五夜まつり



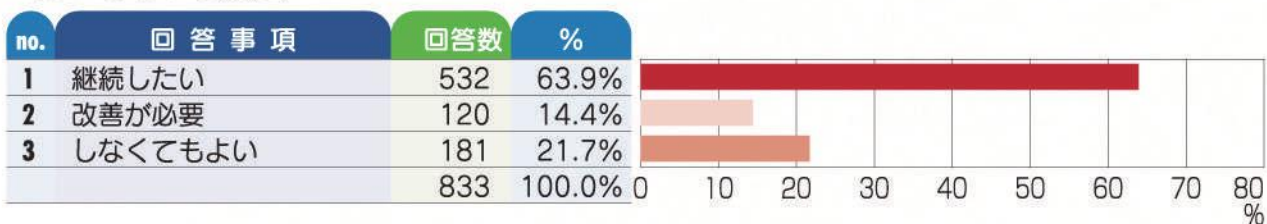
### エ 敬老会



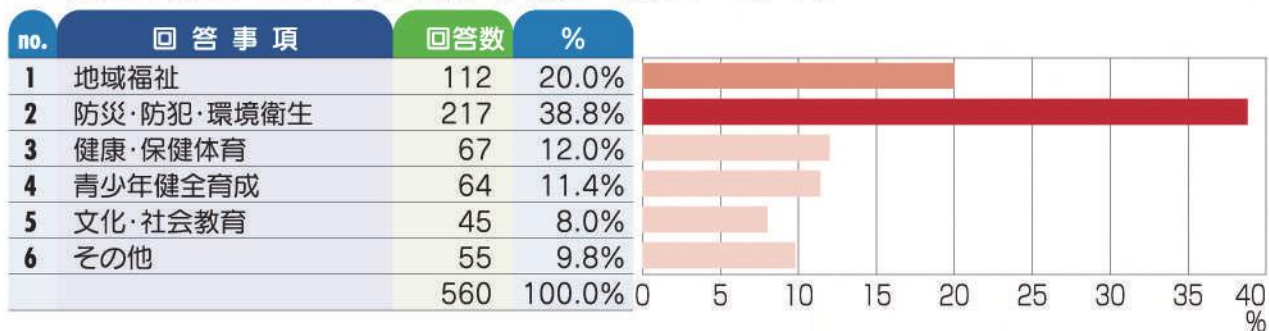
### オ 青少年健全育成大会



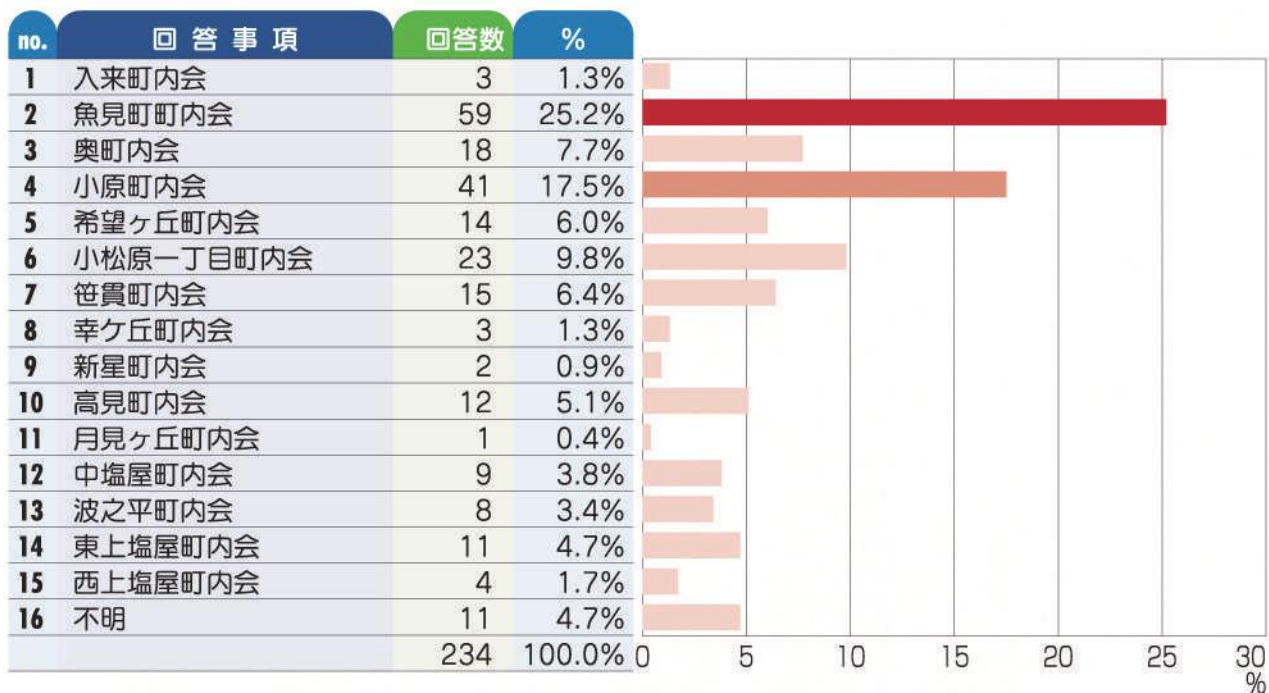
### カ もちつき大会



## 8 校区で新たにどのような事業を実施して欲しいですか。



## 9 ご意見がありましたらお書きください。





## 東谷山校区コミュニティプラン

発行月 令和4年3月

発行 東谷山校区コミュニティ協議会

発行人 梶島 奉文

発行所 鹿児島市魚見町124-1 (東谷山小学校内)

東谷山校区公民館

TEL/FAX 099-298-5983

E-mail [higatani53@po5.synapse.ne.jp](mailto:higatani53@po5.synapse.ne.jp)

HPアドレス <https://higatani53.com/>





IIRIKI



UOMI



OKU



OBARA



KIBOGAOKA



KOMATUBARA1CHOME



SASANUKI



SATIGAOKA



SHINSEI



TAKAMI



TUKIMIGAOKA



NAKASHIOYA



NAMINOHIRA



HIGASHIKAMISHIOYA



NISHIKAMISHIOYA

